

平成26年度

わかりやすい かさまの予算

～みんなで創る 文化交流都市～



はじめに

笠間市では、社会情勢の変化に的確に対応した、独自性・自主性の高いまちづくりを進めるための指針として「笠間市総合計画」を策定しています。その計画に基づき「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」～みんなで創る 文化交流都市～の実現に向けて各種施策を展開しています。

さらに、平成24年度からスタートしている「笠間市総合計画 後期基本計画」で掲げている、重点化を図る3つの視点「健康都市づくり」・「防災力向上」・「地域の活性化」を基本として、平成26年度は、「市街地活性化」の推進と「健康都市かさま」の推進を重点施策と位置づけ、78事業を重要事務事業と定めています。

「市街地活性化」の推進では、市街地の賑わいを創出し、活性化を図るため、「笠間市駅周辺」と「笠間稻荷門前通り周辺」を柱として、地域の特性を生かした拠点整備を行い、持続可能な市街地の形成を目指した事業を展開します。

「健康都市かさま」の推進では、市民の皆さまの健康水準と生活の質の向上を図るため、保健・医療、食、運動の「人の健康づくり」と、都市基盤、芸術・文化などの「生活を支える環境づくり」を柱に、市民の皆さまと行政が一体となって「健康都市かさま」の実現に向けた取り組みを展開します。

笠間市の予算について、市民の皆さまに納めていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしていきますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成26年3月

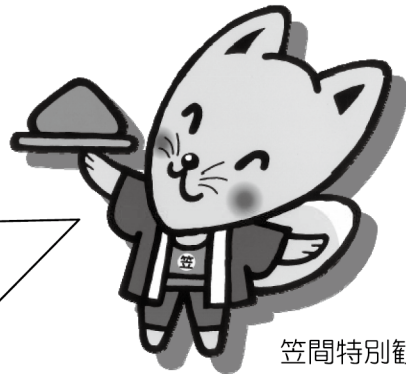
笠間市長 山口 伸 樹

目 次

I 予算の基礎知識	1
II 各会計の予算額	5
III 一般会計予算を家計にたとえると	6
IV 重要事務事業一覧	8
V 主な事業の内容	10
A. 重点施策	10
1. 「市街地活性化」の推進	10
2. 「健康都市かさま」の推進	11
B. 笠間市総合計画の政策分野における重要事務事業	12
1. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり	12
2. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり	12
3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり	14
4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり	15
5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり	16
6. 人と地域、絆（きずな）を大切にした元気なまちづくり	17
VI 参考資料	18
1. 一般会計	18
2. 特別会計	20
3. 企業会計	23
4. 市債の状況	24
5. 基金の状況	26
6. 普通交付税の合併算定替の終了	28

I 予算の基礎知識

予算ってなんだか難しそうだな…
でも、市役所の仕事を
知るために大切なことだから
予算について
いろいろ聞いてみよう！

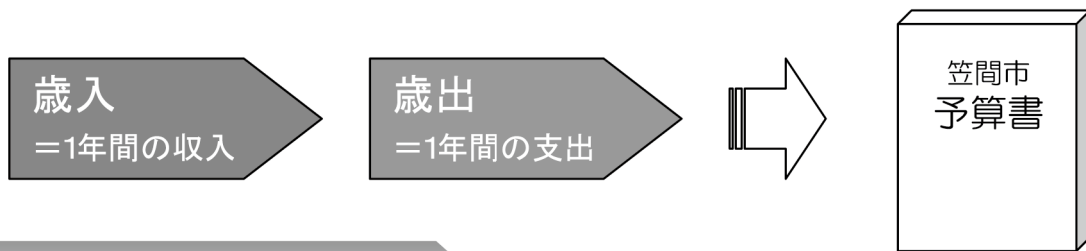


笠間特別観光大使
笠間のいな吉[®]

Q 予算って何？

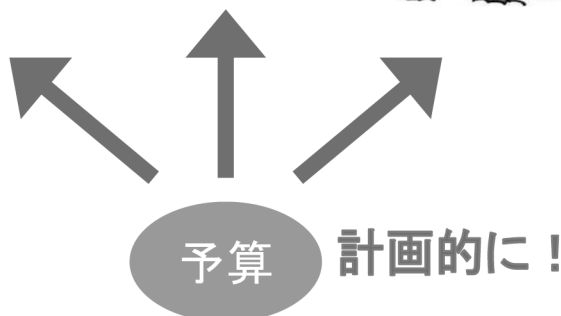
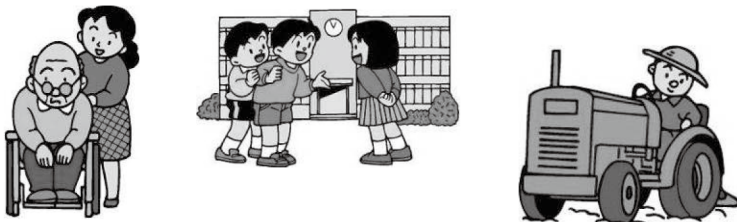
A 予算とは、1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出を見積もることです。

市では、新しい年度が始まる前に、1年間の収入がどのくらいか、その収入をもとにどのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積ります。予算書にはこれらの内容をまとめたものが記されています。



Q 予算って必要？

A 行政サービスを計画的に行うために、必ずつくる必要があります。
市の財政は、家計と同じように、支出は収入に応じたものとしなければなりません。
また、総合計画などの目標を達成するために、どのようなことにどれだけ取り組んでいくのかを明確にし、計画的に実施していくためにも必要です。



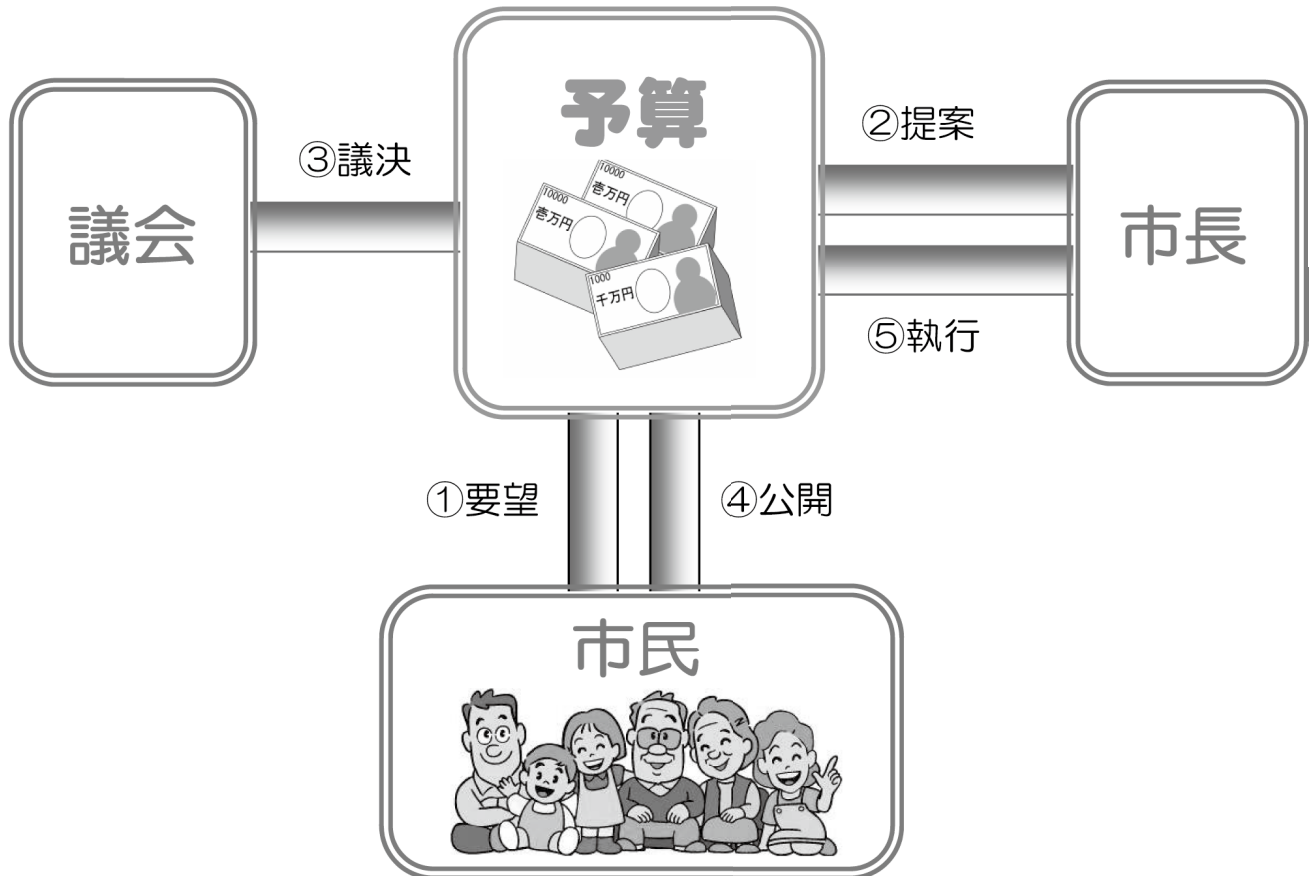
歳入予算は収入の見込みなので、予算額を上回る収入もありますし、予算額より少ない収入となる場合もあります。しかし支出は、決定した歳出予算の目的に沿って、歳出予算の範囲内で執行する必要があります。つまり、歳出予算額を超えて支出することはできません。

やりたいことをどんどんやって、気がついたら払うお金がないといったことにならないように、予算をつくり、行政サービスを計画的に行っています。

Q 予算は誰が決めるの？

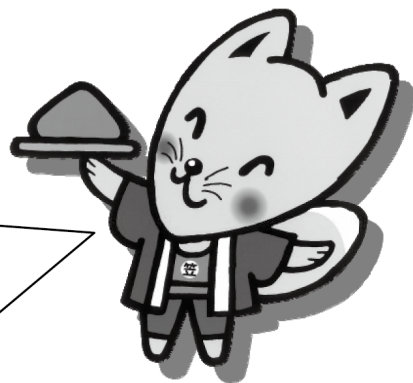
A 市長が予算案をつくり市議会へ提案します。
市議会の審議と議決によって予算が成立します。

市役所の各部署では、市民の皆さんの意見や要望をもとに、1年間の行政サービスを検討します。市長は、各部署の案と、自分の政策に沿って予算案をまとめ、市議会に提案します。市議会では、市民を代表する市議会議員が、提案された予算について様々な面から議論・審議を行い、予算を決定します。



予算は、市役所の仕事を
計画的に行っていくために
必要なんだね！

大切なことだから
みんなでじっくり議論して
決めていくんだなあ



Q

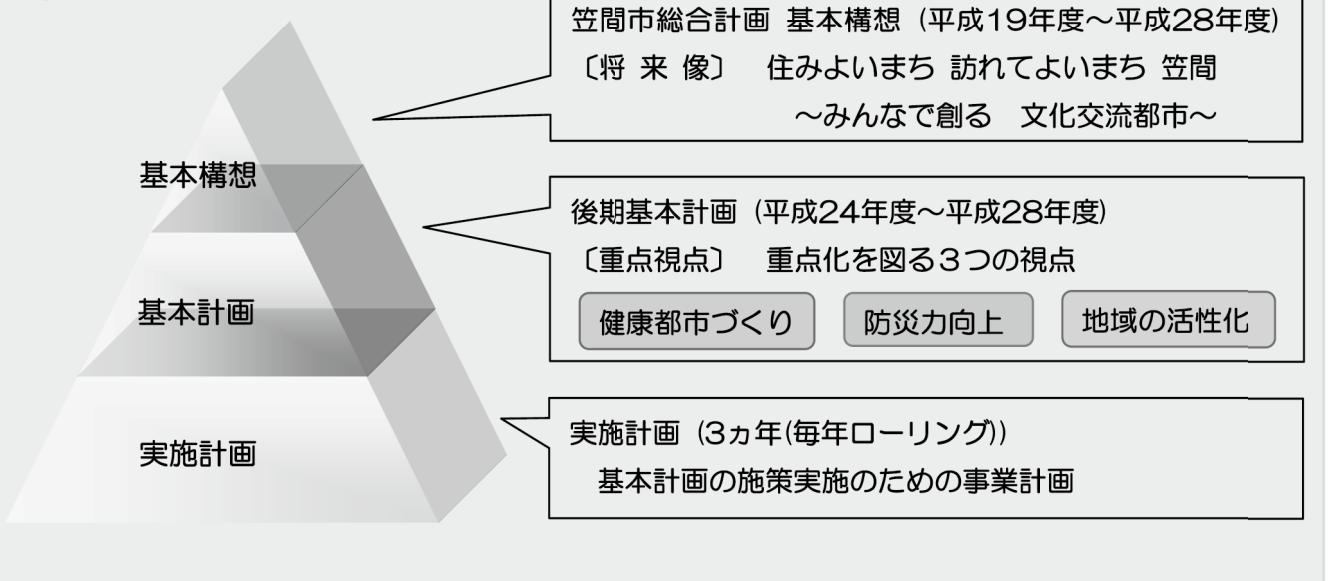
予算はなにをもとにつくられるの？

A

笠間市まちづくりの基本となる「笠間市総合計画」をもとに、予算をつくっています。

総合計画の基本構想では「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間～みんなで創る 文化交流都市～」と将来像を定めています。「笠間に住んで良かった。笠間に来て良かった。」と思ってもらえるよう、魅力ある「笠間市」を築いていきます。

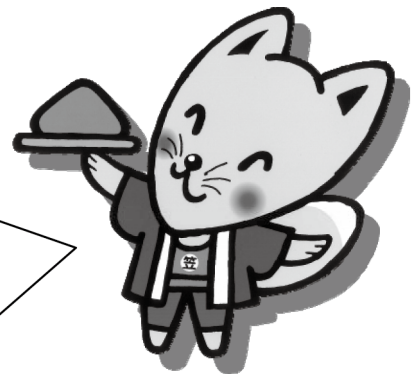
〔総合計画の構成〕



笠間市の将来像を定めているのが
笠間市総合計画なんだね

大好きな笠間市が
どんどん魅力的になるといいな！

そのためにも、予算をきちんと
つくることは重要なんだね



Q 予算づくりの考え方は？

A 予算案作成の基本理念や骨格を、「予算編成方針」として示し、方針に基づいて予算をつくっていきます。

予算編成の基本的な考え方は、次のとおりです。

- 1 限られた貴重な財源を有効に活用するため、施策の優先度が高い事業を中心に予算化する。
- 2 総合計画基本構想の実現や後期基本計画の施策目標達成のため、市の将来あるべき姿を見据えた中長期的視野に立ち、すべての事務事業の必要性・目的・効果等のさらなる検証により、効率的で実効性の高い行政運営を目指した予算とする。
- 3 安定した行政サービスを持続的に提供していくため、第二次行財政改革大綱に定める改革の着実な推進により、的確な財政運営と強固な財政基盤の確保に結びつく予算とする。

今年度事業を行って、内容をよくチェック、必要なものは見直して、来年の予算に反映できるようにしていきます。

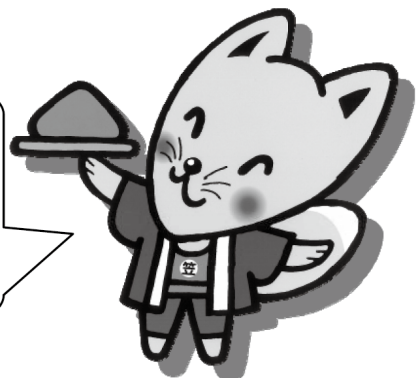
そのためには、笠間市が将来あるべき姿、市民の皆様が本当にやって欲しいことをよく話し合っって事業を進めていかなければなりません。

Q 一度決めた予算は変えないの？

A 変えることがあります。補正予算といいます。

最初に見積もった予算では対応できない場合があります。例えば、災害などにより予定外の経費がかかる場合には、それに対応した予算への変更が必要です。その時には、変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会に提案します。この予算を補正予算といいます。

次のページからは
笠間市の予算がいくらなのか
どんな使い方を計画しているのか
がのっているよ！

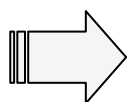


Ⅱ 各会計の予算額

(単位：千円, %)

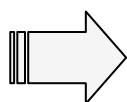
会 計 名	平成26年度 予 算 額	平成25年度 予 算 額	比較増減額	比較増減率
一 般 会 計	28,250,000	27,200,000	1,050,000	3.9
国民健康保険特別会計	9,058,000	9,043,000	15,000	0.2
後期高齢者医療特別会計	691,000	658,000	33,000	5.0
介護保険特別会計	5,644,000	5,053,000	591,000	11.7
介護サービス事業特別会計	24,600	24,600	0	0.0
公共下水道事業特別会計	2,603,000	2,532,000	71,000	2.8
農業集落排水事業特別会計	824,000	595,000	229,000	38.5
岩間駅東土地区画 整理事業特別会計	90,645	92,400	▲ 1,755	▲ 1.9
病院事業会計	701,006	640,749	60,257	9.4
水道事業会計	2,577,564	2,304,063	273,501	11.9
工業用水道事業会計	34,336	46,566	▲ 12,230	▲ 26.3
合 計	50,498,151	48,189,378	2,308,773	4.8

一般会計とは



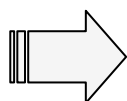
市税や地方交付税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

特別会計とは



国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の収入により特定の事業を運営するために、一般会計と分けて設けられている会計です。

企業会計とは



病院事業や水道事業のように、運営にかかる経費を事業収入により行うために設けられている会計です。

Ⅲ 一般会計予算を家計にたとえると

市の予算は数百億円単位と非常に大きいため、私たちの生活からは実感がわかりません。家計と市ではお金の使い道など単純に比較できない面もありますが、少しでもわかりやすくするため、平成26年度一般会計予算282億5千万円を、年収500万円の家計に置き換えてみました。

◎ 1年間に必要な生活費を500万円としてみると

収 入

一般会計予算（年額）		家計にたとえた場合（年額）		前年度比較増減額
市 税	87億9,436万円	給料 （本給）	156万円	▲7万円
地方交付税 地方譲与税 各種交付金	78億645万円	給料 （諸手当）	138万円	2万円
負担金 使用料など	16億3,219万円	パート収入	29万円	▲1万円
国・県支出金	59億3,176万円	親からの援助	105万円	9万円
市 債	25億8,580万円	銀行からの借入れ	46万円	▲6万円
繰入金	14億9,944万円	定期預金の取崩し	26万円	3万円
合 計	282億5,000万円	合 計	500万円	-

※比較増減・・・平成25年度と平成26年度予算を家計（500万円）にたとえた場合の比較増減

給料とパート収入（合計323万円）に、親からの援助（105万円）を合わせると428万円になります。1年間の家計費は500万円かかるため、不足する72万円を銀行からの借入れ（46万円）や定期預金の取崩し（26万円）で賄っています。

前年度との比較では、親からの援助は9万円の増加、定期預金の取崩しは3万円増加していますが、銀行からの借入れで6万円減少しています。

下の表のとおりローン残高が532万円あるので、銀行からの借入れを抑え、ローン残高が減るよう努力しています。



借金（市債）と預貯金（基金）の状況

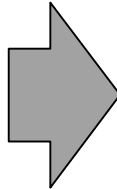
市債・基金総額（平成25年度末見込）		家計にたとえた場合 （市の予算を500万円とした場合の金額）		前年度比較増減額
市債残高	300億6,125万円	ローン残高	532万円	▲8万円
基金残高	143億1,391万円	預貯金	253万円	13万円

家計にたとえると
わかりやすいね！



支 出

一般会計予算（年額）	
人件費	54億4,054万円
扶助費	53億7,429万円
公債費	30億5,202万円
物件費	43億5,848万円
投資的経費 維持補修費	32億3,554万円
補助費等	28億4,530万円
積立金 貸付金など	5億4,328万円
繰出金	34億55万円
合計	282億5,000万円



家計にたとえた場合（年額）		前年度 比較増減額
食費	96万円	▲8万円
家族の医療費や 保険料など	95万円	▲2万円
ローンの返済	54万円	▲1万円
電気料、ガス料 水道料、電話料など	77万円	-
自宅の増改築や 家財道具購入など	57万円	1万円
授業料、自治会費など	51万円	17万円
預貯金 の 積み立て	10万円	▲4万円
子どもへの仕送り	60万円	▲3万円
合計	500万円	-

食費（人件費）や医療費（扶助費）、ローンの返済（公債費）の3つは、義務的経費と呼ばれ、一般家庭におけるエンゲル係数（家計における食費の占める割合）と同様、これが高いと家計に余裕がないことを意味しています。（平成26年度の義務的経費の占める割合は、49.1%です。平成25年度は、51.1%でした。）

授業料、自治会費（補助費等）などについては、国や県からすべて資金手当された臨時的事業費が大幅に増加したため17万円増加しています。

今後収入が減っていくことが予想されるため、義務的経費はもとより、その他の経費についても、なお一層の節減に努める必要があります。



IV 重要事務事業一覽

笠間市総合計画 基本構想 (平成19年度～平成28年度)

〔将来像〕 住みよいまち 訪れてよいまち 笠間 みんなで創る ～文化交流都市～

後期基本計画 (平成24年度～平成28年度)

〔重点視点〕 重点化を図る3つの視点

健康都市づくり (26事業)

防災力向上 (9事業)

地域の活性化 (28事業)

平成26年度 重点施策

【新規】

「市街地活性化」の推進

◆市街地の賑わいを創出し、活性化を図るため、「笠間市駅周辺」と「笠間稲荷門前通り周辺」を柱として、地域の特性を生かした拠点整備を行い、持続可能な市街地の形成を目指した事業を展開します。

駅周辺

- 友部駅周辺地区
 - ・地域交流センター整備
 - ・市立病院整備
- 稲田駅周辺地区
 - ・駅前広場整備
 - ・稲田停車場線整備
- 岩間駅周辺地区
 - ・地域住民との連携

市街地の活性化

賑わいの創出

- ・駅利用者及び市民の利便性向上
- ・駅空間のイメージ向上
- ・未利用公有地の有効活用
- ・地域産業の活性化
- ・交流人口の増加

笠間稲荷周辺

- 笠間稲荷周辺地区
 - ・道路景観整備
 - ・まちなみ景観整備
 - ・旧井筒屋周辺整備
 - ・回遊ルート整備
 - ・地域住民との連携

【継続】

「健康都市かさま」の推進

◆市民の健康水準と生活の質の向上を図るため、「人の健康づくり」と「生活を支える環境づくり」を柱に、市民と行政が一体となって「健康都市かさま」の実現に向けた取り組みを展開します。

人の健康

- 食を含めた各個人の健康をつくる
 - ・運動に取り組むことができる場の整備
 - ・生涯を通じた健康教育
 - ・健康づくり活動の活性化
 - ・健康危機管理の充実

健康都市かさまの実

安心・安全の確立

- 健康な生活がおくり続けることができる安心と安全が確立された「健康都市かさま」の構築
 - ・健康都市づくり市民運動の促進
 - ・保健・医療の充実
 - ・食育の推進

生活を支える環境

- 安全な環境をつくる
 - ・歩道整備、防犯体制や交通安全活動の充実
- 癒しの環境をつくる
 - ・衛生環境の向上
 - ・景観づくり
- 人と地域をつくる
 - ・ICTによる情報の共有化

平成26年度 重要事務事業(78事業)

A. 重点施策

重点施策		重要事務事業名/事業費						
「市街地活性化」の推進	市街地の活性化 ・友部駅周辺地区 ・岩間駅周辺地区 ・稲田駅周辺地区	市街地整備活性化推進事業(活性化方策の企画立案・事業調整)		9,880千円	新規			
		地域交流センター整備事業(友部地区詳細設計)		32,117千円				
		市立病院整備事業(基本設計)		30,000千円	新規			
		市道(友)1175・1180・1195・1196号線(狭あい道路解消)						
		市道(友)1級6号(排水対策)		87,000千円				
		「石の百年館」運営事業(稲田駅前)		3,511千円				
		稲田駅前広場・停車場線・観光施設誘導サイン整備事業		47,004千円	新規			
		笠間稲荷門前通り整備推進事業(道路景観整備・まちなみ景観整備)		94,946千円				
笠間稲荷周辺まちづくり推進事業(旧井筒屋耐震補強設計等)		17,651千円						
「健康都市かさま」の推進	人の健康づくり	保健医療	健康都市づくり事業(普及・啓発)		783千円			
			地域の健康づくり事業(教育・相談・指導・体操・栄養指導等)		990千円			
			がん検診推進事業(無料クーポン券配布)		9,325千円			
			平日夜間・日曜初期救急診療事業		18,000千円			
			医療福祉費支給事業(マル福)		447,285千円			
			医療福祉費自己負担金助成事業(外来・入院時自己負担分助成)		58,705千円			
			特定健康診査等事業(メタボ健診)		57,403千円			
			国保健康づくり推進事業(人間ドック・脳ドック費用助成)		24,396千円			
			高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業		7,017千円	新規		
			包括的支援事業(相談・支援計画・生活支援)		7,105千円			
			地域クラウド運営事業(介護・医療情報等の連携)		10,347千円	新規		
			介護予防支援事業(生活機能チェック・介護予防教室)		9,710千円			
			市立病院訪問リハビリ事業(平成26年4月開始)/医療機器整備事業		12,100千円	拡充		
			かさま地域医療教育ステーション推進事業(筑波大学病院連携)		22,000千円	拡充		
			食	運動	健康づくり推進事業(食育・生活習慣病予防)		1,640千円	
					ヘルスロード活用推進事業(コース案内看板整備)		4,796千円	拡充
かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業		9,570千円						

※「生活を支える環境づくり」については、都市基盤、生活環境、教育、文化など分野横断の一体的な取り組みを進めます。

B. 総合計画の政策分野における重要事務事業

政策※		重要事務事業名/重点視点/事業費		
第1章	市街地活性化支援	畜産試験場跡地利活用促進事業	-	
	快適な道路環境の構築 快適な歩行空間の創出 地域間の移動性向上	幹線道路整備事業 (来栖本戸線・笠間小原線・南友部平町線・岩間八郷線・友部池野辺線 岩間駅東大通り線[延伸部]・市道(友)2級5号線[随分附]・市道(友)1級5号線 市道(友)1級7号線[美原])	[防災] [健康] 546,237千円	
		交通弱者の移動支援	デマンドタクシーかさま運行事業	[健康] 52,413千円
第2章	地質遺産の保護活用	筑波山地域ジオパーク(大地の公園)構想推進事業	[地域] 397千円	
	農業経営基盤の強化支援	農業公社(仮称)設立準備事業	[地域] 4,912千円	新規
		地場農産物PR事業	[地域] 2,062千円	
		地場農産物振興拡大事業(6次産業化・地産地消)	[地域] 875千円	
		人・農地プラン策定事業	[地域] 210千円	
		担い手対策強化促進事業	[地域] 5,883千円	
		新規就農総合支援事業	[地域] 9,000千円	
	農業生産基盤の強化	農山漁村活性化プロジェクト交付金事業(大古山地区基盤整備) 震災対策農業水利施設整備事業(不動谷津池地区耐震調査等)	[防災] 7,000千円	新規
	持続可能な農業生産の促進	土づくり運動推進事業	[健康] 1,866千円	
		環境保全型農業直接支援対策事業(有機農業・減農薬農業等取組み支援)	[健康] 549千円	
都市農村交流の推進	グリーンツーリズム推進事業(交流促進・体験農業支援)	[地域] 1,337千円		
雇用機会の創出	企業誘致推進事業	[地域] 1,868千円		
	市民雇用創出事業(職業能力アップ・中小企業雇用支援等)	[地域] 7,256千円		
第3章	子ども・子育て支援新制度の推進	子ども・子育て支援新制度推進事業(計画策定/子ども・子育て会議運営)	3,112千円	
		出会い創出支援事業	[地域] 486千円	
		母子保健事業(特定不妊治療費助成)	5,000千円	
障がい者の生活安定	地域生活支援事業(障がい者の日常・社会生活支援)	54,629千円		
第4章	歩行空間の魅力向上	市道(笠)2336号線(ギャラリーロード)	[地域] 41,200千円	
		道路ストック総点検事業(道路照明・標識等の老朽度調査)	[防災] 6,538千円	新規
		笠間地区市街地浸水対策事業	[防災] 20,000千円	
		水道施設等整備事業(財政計画・石綿管更新・鉛製給水管解消)	[防災] 170,700千円	
		下水道長寿命化推進事業(計画策定・施設改修)	283,900千円	
	住宅ストックの有効活用	公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽整備事業	968,001千円	
		定住化対策事業(定住化促進PR・空き家物件調査・利活用費助成)	[地域] 7,723千円	
		空き家等の適正管理事業(老朽・危険空き家解体費助成)	[健康] 3,000千円	
		「笠間の家」活用事業	[地域] 5,671千円	
		防災体制の強化 防災意識の向上	防災対策事業(防災訓練・防災士資格取得助成等)/自主防災組織育成事業 茨城消防救急無線・指令センター運営協議会事業(消防救急無線デジタル化) 民間救急ボランティア育成・啓発事業	[防災] 11,859千円 [防災] 155,967千円 [防災] 196千円
防犯体制の強化	行政区管理防犯灯整備事業(行政区管理防犯灯のLED化)	[健康] 106,119千円	新規	
快適な生活環境の構築	環境基本計画策定事業	[健康] 3,888千円	新規	
	自然エネルギー活用助成事業(住宅用太陽光発電システム設置費助成)	[健康] 40,200千円		
第5章	幼児教育環境の向上	幼保連携型認定子ども園建設事業(てらざき保育所と笠間幼稚園の一体化)	33,664千円	新規
	学力向上支援	学力向上支援事業	46,863千円	
		寺子屋事業(従前カリキュラムに英語教育を追加)	6,189千円	拡充
	学校教育環境の適正化	学校統合準備事業	40,555千円	新規
	学校教育環境の向上	小・中学校施設環境改善事業(施設耐震化) ※繰越分	[防災] 476,604千円	
	学習機会の提供	図書館サービス事業(図書購入)	[健康] 35,018千円	拡充
第6章	歴史・芸術・文化資源の有効活用	笠間城保存整備調査事業	12,030千円	
		全国こども陶芸展推進事業	[地域] 5,925千円	
		かさま国際音楽アカデミー事業	[地域] 7,516千円	
		協働のまちづくりの推進	協働のまちづくり推進事業 地域ポイント制度事業 市民活動助成事業(市民活動団体自立促進・地域活性化事業費助成)	[地域] 376千円 [地域] 3,006千円 [地域] 2,010千円
開かれた議会の推進	議会中継配信事業(本会議のライブ・録画映像インターネット配信)	4,171千円	新規	
地域情報発信の強化	笠間まちなかガイドシステム構築事業	[地域] 5,366千円	新規	
徴収体制の強化	収納対策事業(市税・国民健康保険税・介護保険料)	51,722千円		
公有資産マネジメント	市有財産管理事務(公有資産の管理・活用の推進)	6,475千円	拡充	
公共施設の震災復興	教育委員会庁舎整備事業	359,100千円	新規	

※ 第1章 土地利用・都市基盤/第2章 産業/第3章 健康・福祉/第4章 生活環境/第5章 教育・文化/第6章 自治・協働

V 主な事業の内容

平成26年度の重要事務事業のうち、重点施策の各項目および笠間市総合計画の各政策分野における主な事業を紹介いたします。

A. 重点施策

1. 「市街地活性化」の推進

地域交流センター整備事業

友部駅南口に整備する、地域コミュニティー及びNPOなどの活動拠点となる「地域交流センター」の平成28年オープンを目指し、建設に伴う実施設計を行います。

32,117千円



*イメージ図

市街地整備活性化推進事業

新規

友部・岩間地区の駅周辺市街地活性化推進のため、会議・地域関係者との懇談会・イベント等を開催するとともに、調査分析を行い活性化方策の企画を立案します。

9,880千円

市立病院整備事業

新規

移転する市立病院の平成30年4月のオープンを目指し、市立病院基本計画に基づき、建設に伴う基本設計を行います。

30,000千円

稲田駅前広場・停車場線・ 観光施設誘導サイン整備事業

新規

稲田駅周辺の市街地に賑わいを創出するため、駅前にオープンした「石の百年館」を拠点とし、稲田みかげ石の産地をイメージする駅前広場や駅前道路の整備等を行います。

47,004千円



石の百年館

市道（友）1175号線 外4路線

友部駅周辺における安全な市街地の形成を図るため、幅員4m未満の狭あい道路の拡幅や、水はけの悪い箇所の排水整備を行います。

87,000千円

笠間稲荷周辺まちづくり推進事業

笠間稲荷周辺の賑わい創出を図るため、観光拠点（旧井筒屋）の再整備や、稲荷門前通りから竹の小径・大石邸跡への回遊性を確保するための整備等を行います。

17,651千円

笠間稲荷門前通り整備推進事業

観光拠点である笠間稲荷神社の門前通りに賑わいを創出するため、歩行者に優しく景観に配慮した道路を整備し、地域の活性化を図ります。

94,946千円



*イメージ図

2. 「健康都市かさま」の推進

高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画策定事業 新規

高齢者福祉・介護保険事業の向上を図るため、第6期計画（平成27年度から平成29年度）を、一体的に策定します。

7,017千円



包括的支援事業

要介護状態・要支援状態となることを予防するため、相談・支援計画策定を行い、その計画に基づき各種支援を実施します。

7,105千円

地域クラウド運営事業 新規

介護支援体制を強化するため、介護認定情報・見守り支援情報・救急医療情報などを、市民・事業者・行政にて共有できるシステムを運用します。

10,347千円

市立病院訪問リハビリ事業 拡充

作業療法士と言語聴覚士を採用し、従来の在宅訪問診療に加え、訪問リハビリを開始します。

12,100千円



かさま地域医療教育 ステーション推進事業 拡充

筑波大学から指導医と研修医を受け入れ、地域医療教育を実践することで、地域医療に従事する医師の養成と地域医療の充実を図ります。

22,000千円

健康づくり推進事業

親子料理教室・子ども料理教室などの体験を通じて「食」に関する知識を深め、健全な食生活の実践・心身の健康増進を図ります。

1,640千円

ヘルスロード活用推進事業 拡充

ヘルスロードのコース案内板設置やウォーキング体験教室を開催することで、ヘルスロードを活用した健康習慣づくりを促進します。

4,796千円



大池公園から笠高通り周回コース

B. 笠間市総合計画の政策分野における重要事務事業

【第1章 土地利用・都市基盤】 広域交流基盤を生かした新時代の まちづくり

畜産試験場跡地利活用促進事業

畜産試験場跡地の利活用を促進するため、排水整備を進めながら、笠間市の発展に繋がる活用方法を検討します。



デマンドタクシーかさま運行事業

乗り合いタクシーを運行することで生活交通手段を確保し、地域生活の利便性を図ります。



52,413千円

幹線道路整備事業

市内幹線道路を整備し、交通利便性を高め、地域の一体化・均衡ある発展を図ります。
来栖本戸線、笠間小原線、南友部平町線
岩間八郷線、友部池野辺線
岩間駅東大通り線（延伸部）
市道（友）2級5号線、1級5号線、1級7号線



546,237千円

【第2章 産業】 多彩な交流で飛躍する活力ある産業の まちづくり

筑波山地域ジオパーク （大地の公園）構想推進事業

地質や自然生態・歴史・文化などの地域資源を「ジオパーク」という新たな観光資源として活用するため、6自治体と連携して正式認定を目指します。

397千円

農業公社（仮称）設立準備事業

新規

高齢化による担い手不足や遊休農地の解消、農産物の加工・販売を目的とした農業法人設立の準備をします。

4,912千円





**地場農産物振興拡大事業
(6次産業化・地産地消)**

学校給食への食材提供拡大，地産池消の推進，栽培技術の承継，農産物の加工，笠間の特色を生かした「笠間の野菜」の開発・研究を行い，農業体系の構築を推進します。

875千円

地場農産物PR事業

笠間市の特性を生かした農業の振興を積極的に推進するため，「笠間の粋（笠間ブランド）」の確立やPRを実施します。



2,062千円

人・農地プラン策定事業

営農相談や地域懇談会を開催するとともに，農業経営の安定と魅力ある農業の構築を目指し，地域農業の将来像となる「笠間市人・農地プラン」を策定します。

210千円

**農山漁村活性化プロジェクト
交付金事業（大古山地区基盤整備）**

農地の生産力向上，耕作放棄地の解消を図るため，稲田大古山地区の排水路・調整池等の整備を行います。

93,516千円

土づくり運動推進事業

化学肥料・農薬を削減した土づくりを普及促進するために，必要な機械・施設等の整備費の一部を助成することで，従事者の負担軽減を図ります。



1,866千円

**震災対策農業水利施設整備事業
(不動谷津池地区耐震調査等)**

新規

地震による被災の影響が大きい農業水利施設の震災対策として，小原地区の不動谷津池の耐震調査及びハザードマップを作成します。

7,000千円

**環境保全型農業直接支援対策事業
(有機農業・減農薬農業等取組み支援)**

環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し，経費の一部を助成することで，環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業を推進します。

549千円

グリーンツーリズム推進事業
(交流促進・体験農業支援)

「笠間クラインガルテン」を中心に、「食」と「農」をテーマにしたグリーンツーリズム企画や、農作物の収穫体験などにより都市住民との交流を図ります。



1,337千円

企業誘致推進事業

立地アンケートやPRを実施し、優良企業の誘致を進め、地元雇用の拡大や従業員の定住促進を図ります。



1,868千円

【第3章 健康・福祉】
共に支えあい、健やかに暮らせる
まちづくり

子ども・子育て支援新制度推進事業

質の高い幼児期の学校教育・保育の一体的な提供や、地域における子育て支援の充実を図るため、子ども・子育て支援事業計画を策定します。

3,112千円



母子保健事業

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部を助成します。

5,000千円

地域生活支援事業

障がいをもつ方が地域で自立した生活が送れるよう、生活用具・移動手段等の支援を行います。

54,629千円

【第4章 生活環境】
**自然と共生した安全でやさしさのある
 まちづくり**

**市道（笠）2336号線
 （ギャラリーロード）**

観光拠点である「笠間芸術の森公園」の周辺に位置するギャラリーロードを、歩きやすい安心・安全な道路環境にするため、歩道景観整備を行います。

41,200千円



道路ストック総点検事業

新規

道路における事故等を未然に防止するため、現在設置している道路照明・道路案内標識や法面等に危険な箇所がないか現状を調査します。

6,538千円



空き家等の適正管理事業

生活環境の保全・防犯のまちづくりを推進するため、老朽化によって倒壊のおそれのある空き家等の解体費用の一部を助成することで、危険な建物の減少を図ります。

3,000千円

行政区管理防犯灯整備事業

新規

省エネルギー化による地球温暖化防止および行政区負担の電気料金削減を図るため、行政区管理防犯灯について維持管理を含むLED電灯の10年間リースを一括契約します。

106,119千円

茨城消防救急無線・指令センター運営協議会事業

広域的かつ迅速に対応でき、大規模災害に強い体制を構築するため、消防救急無線のデジタル化整備を行います。

155,967千円



環境基本計画策定事業

新規

良好な環境形成実現のため、前回策定した計画を見直し、新たな環境問題に対応した計画を策定します。

3,888千円

【第5章 教育・文化】 人が輝き、豊かな文化を創造・発信する まちづくり

寺子屋事業

拡充

子どもたちの学びの機会づくりを推進するため、毎週土曜日に小学校5・6年生を対象とした定員制の学習指導を行います。
平成26年度は「国語・算数」の2教科に「英語」を加え実施します。

6,189千円



幼保連携型認定子ども園 建設事業

新規

笠間幼稚園とてらざき保育所を一体化した「幼保連携型認定子ども園」の平成28年度開園に向け、建設工事の基本・実施設計を行います。

33,664千円

学校統合準備事業

新規

平成27年4月の学校統廃合に向けて、統合先の校舎の施設整備、スクールバスの駐車場整備、子どもたちの事前交流会に伴うバスの借上げや学用品等購入に対する補助などを行います。

40,555千円

小・中学校施設環境改善事業

安心安全な学校づくりを推進するため、校舎等の耐震補強・改修工事を実施します。

- ・ 稲田中学校校舎
- ・ 佐城、岩間第一、岩間第二小学校屋内運動場
*平成25年度からの繰越事業です

476,604千円



図書館サービス事業 (図書購入)

拡充

図書購入や施設の維持管理を行い、利便性や情報発信力の向上を目指します。

35,018千円

かさま国際音楽アカデミー事業

有名な講師陣による質の高いレッスンや、街角コンサートなどを開催する「かさま国際音楽アカデミー」を支援し、音楽によるまちづくりを推進します。

7,516千円



【第6章 自治・協働】 人と地域，絆を大切にした元気な まちづくり

地域ポイント制度事業

市の施策に合った『協働・健康づくり・環境に配慮した取組み』にポイントを付加することで、活動のやりがい・楽しみの創出を図ります。



3,006千円

議会中継配信事業

新規

本会議のライブ中継，録画動画の配信をすることで，市政に触れる機会を拡大し，開かれた議会を目指します。



4,171千円

笠間まちなかガイドシステム 構築事業

新規

観光資源や地域資源の情報，災害発生時の避難誘導などの行政情報の周知を促進するため，情報をスマートフォン等で取得できる「笠間まちなかガイドシステム」を構築します。

5,366千円



市有財産管理事務

拡充

未利用地の処分や，老朽化等により更新時期を迎える施設の対応など，公有財産管理のあり方を検討します。

6,475千円

収納対策事業

納付催促や訪問，財産調査，差押えなどの滞納処分を行い，市税等の徴収率向上を図ります。
また，納税の利便性を図るため，口座振替による納付を推進します。

51,722千円

教育委員会庁舎整備事業

新規

震災の影響により仮設庁舎となった教育委員会庁舎を，市役所敷地内に建設します。



359,100千円

Ⅵ 参考資料

1. 一般会計

歳 入

市税収入については、緩やかながら回復傾向にある景気の反映や税制改正により、個人市民税が増になると見込んでいるものの、土地評価の時点修正や償却資産の減少等による固定資産税の減、消費の減少によるたばこ税の減などにより、市税全体では減収を見込んでいます。

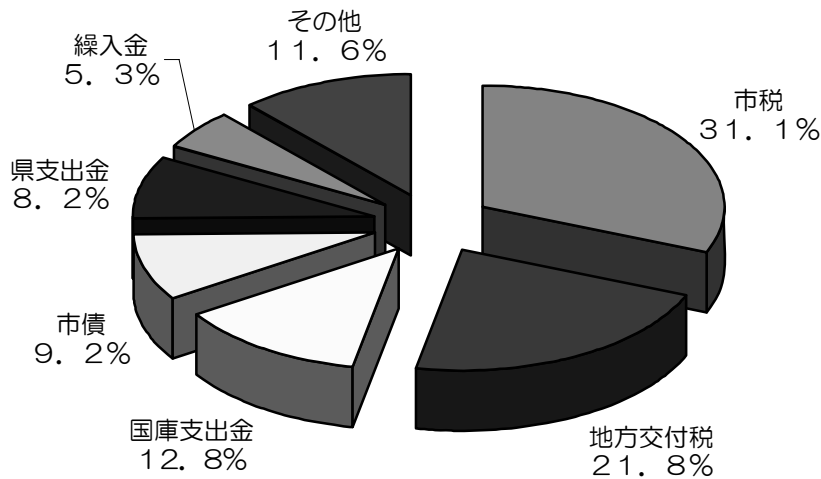
地方交付税においては、通常の地方交付税とは別枠で東日本大震災からの復旧・復興事業に係る経費に対して交付される、震災復興特別交付税を活用した教育委員会庁舎整備を行うことから、前年度に比べ増額を見込んでいます。

また、財源を有効に活用するため、社会資本整備総合交付金など国や県の補助制度については、積極的に活用する一方で、市債の借入れについては、地方交付税の代替措置である臨時財政対策債と交付税算入率が高い合併特例債及び緊急防災・減災事業債以外は、基本的に借り入れないこととしました。

(単位：千円，%)

歳 入	平成26年度		平成25年度		比較増減額	比較増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
市 税	8,794,364	31.1	8,841,344	32.5	▲ 46,980	▲ 0.5
地方交付税	6,159,100	21.8	5,943,470	21.9	215,630	3.6
国庫支出金	3,607,566	12.8	3,482,691	12.8	124,875	3.6
市 債	2,585,800	9.2	2,834,800	10.4	▲ 249,000	▲ 8.8
県 支 出 金	2,324,192	8.2	1,726,544	6.3	597,648	34.6
繰 入 金	1,499,438	5.3	1,273,595	4.7	225,843	17.7
そ の 他	3,279,540	11.6	3,097,556	11.4	181,984	5.9
歳入合計	28,250,000	100.0	27,200,000	100.0	1,050,000	3.9

歳入予算状況



市 税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	自治体間の財源の不均衡を調整するため国から交付されます。
国庫支出金	国からのお金です。生活保護や幹線道路整備など特定の事業に充てます。
市 債	国や金融機関から借り入れるお金です。
県 支 出 金	県からのお金です。統計調査や選挙、農地の整備など特定の事業に充てます。
繰 入 金	各種基金（預貯金）を取り崩して、基金設置の目的に沿った事業に充てます。
そ の 他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

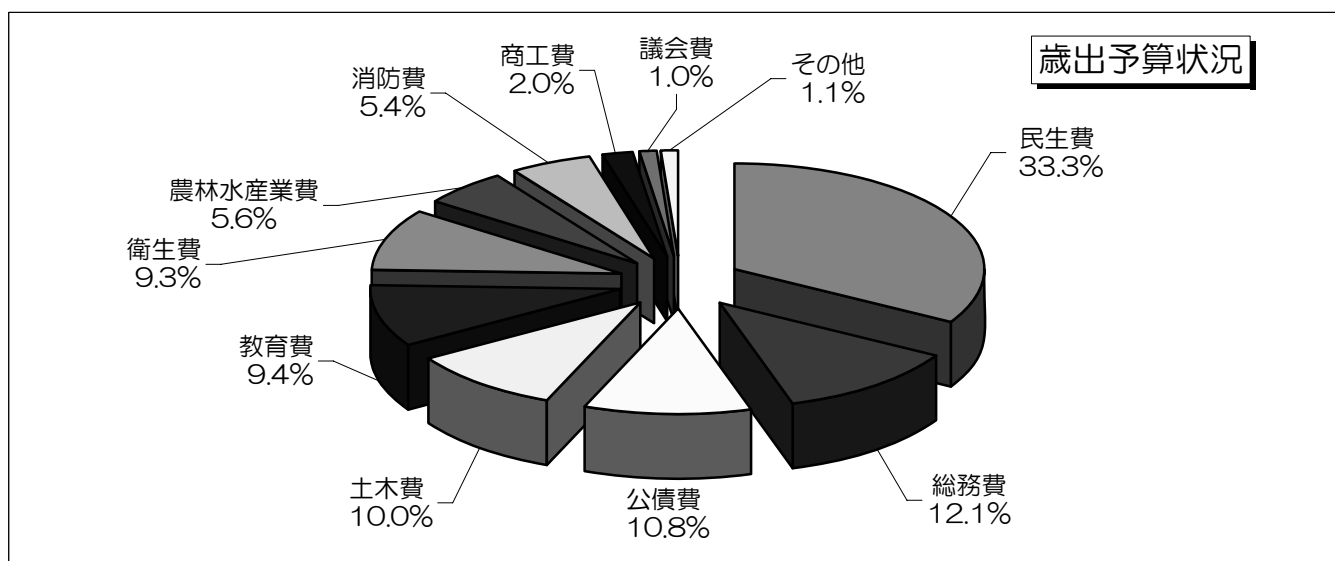
歳 出

◎歳出予算で前年度と比べ増減が大きなものの内容

- 農林水産業費・・・民間企業が実施する農産物加工場の建設に対する補助金などにより，約6億5,000万円増
- 民生費・・・・・・国の経済対策により実施する臨時福祉給付金などにより，約5億5,500万円増
- 土木費・・・・・・国の補助金を活用して実施した狭あい道路整備の終了などにより，約3億3,600万円減
- 教育費・・・・・・学校施設の耐震補強・改修の前年度前倒しなどにより，約2億5,600万円減

(単位：千円，%)

歳 出	平成26年度		平成25年度		比較増減額	比較増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
民 生 費	9,409,262	33.3	8,854,382	32.6	554,880	6.3
総 務 費	3,404,122	12.1	3,345,600	12.3	58,522	1.7
公 債 費	3,052,015	10.8	2,963,209	10.9	88,806	3.0
土 木 費	2,827,695	10.0	3,163,471	11.6	▲ 335,776	▲ 10.6
教 育 費	2,663,428	9.4	2,919,416	10.7	▲ 255,988	▲ 8.8
衛 生 費	2,619,113	9.3	2,501,054	9.2	118,059	4.7
農 林 水 産 業 費	1,595,979	5.6	946,399	3.5	649,580	68.6
消 防 費	1,521,387	5.4	1,394,100	5.1	127,287	9.1
商 工 費	563,351	2.0	573,768	2.1	▲ 10,417	▲ 1.8
議 会 費	289,834	1.0	283,813	1.1	6,021	2.1
そ の 他	303,814	1.1	254,788	0.9	49,026	19.2
歳 出 合 計	28,250,000	100.0	27,200,000	100.0	1,050,000	3.9



民 生 費	社会福祉，児童福祉，生活保護などの経費です。
総 務 費	庁舎の維持管理，広報紙発行，選挙などの経費です。
公 債 費	借入金を返済する経費です。
土 木 費	道路・公園などの整備・管理などの経費です。
教 育 費	学校・図書館などの経費，スポーツ大会などの経費です。
衛 生 費	各種健診・予防接種，ごみ収集などの経費です。
消 防 費	火災や台風などの防災活動経費です。
農 林 水 産 業 費	農業や林業の振興のための経費です。
商 工 費	商工業の振興や観光事業を推進するための経費です。
議 会 費	議員報酬や議会の運営に関する経費です。
そ の 他	病院・水道事業への支出金，不測の事態に備えた予備費です。

2. 特別会計

(1) 国民健康保険特別会計

加入者の方々が病気やけがをした時に備えて、安心して治療を受けられるように、普段からお金を出し合い、お互いに助け合う国民健康保険制度のための会計です。

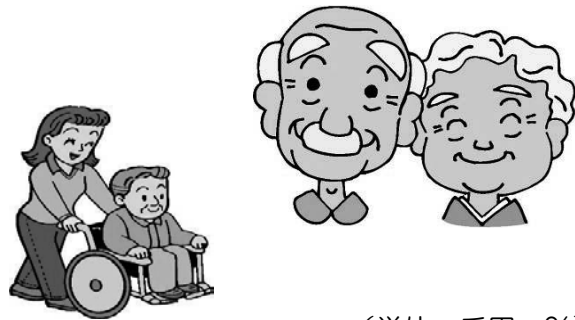


(単位：千円，%)

歳入予算額			9,058,000			歳出予算額			9,058,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
国民健康保険税	2,341,534	25.9	保険給付費	5,778,843	63.8						
国庫支出金	2,333,671	25.8	後期高齢者支援金等	1,322,611	14.6						
前期高齢者交付金	1,679,451	18.5	共同事業拠出金	1,029,422	11.4						
共同事業交付金	1,109,514	12.2	介護納付金	622,745	6.9						
繰入金	640,443	7.1	保健事業費	84,462	0.9						
県支出金	564,533	6.2	その他	219,917	2.4						
療養給付費等交付金	358,479	4.0									
その他	30,375	0.3									

(2) 後期高齢者医療特別会計

高齢者の医療を確保するために設立された、後期高齢者医療を運営する会計です。市町村では保険料の徴収や窓口などの業務を行い、保険給付などは茨城県後期高齢者医療広域連合が行います。



(単位：千円，%)

歳入予算額			691,000			歳出予算額			691,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
後期高齢者医療保険料	509,507	73.7	後期高齢者医療広域連合納付金	661,838	95.8						
繰入金	165,096	23.9	保健事業費	16,250	2.4						
その他	16,397	2.4	総務費	11,310	1.6						
			その他	1,602	0.2						

(3) 介護保険特別会計

40歳以上の国民が加入し、必要な介護サービスを利用した場合に保険給付を行う「介護保険」制度を運営するための会計です。要介護状態の軽減や悪化を防止する予防給付も行います。



(単位：千円，%)

歳入予算額			歳出予算額		
5,644,000			5,644,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
支払基金交付金	1,574,041	27.9	保険給付費	5,397,884	95.6
国庫支出金	1,269,339	22.5	総務費	138,084	2.5
保険料	1,032,411	18.3	地域支援事業費	105,582	1.9
繰入金	954,615	16.9	その他	2,450	0.0
県支出金	807,922	14.3			
その他	5,672	0.1			

(4) 介護サービス事業特別会計

サービス収入（介護予防サービス計画費収入）により、ケアプランを作成するための会計です。



(単位：千円，%)

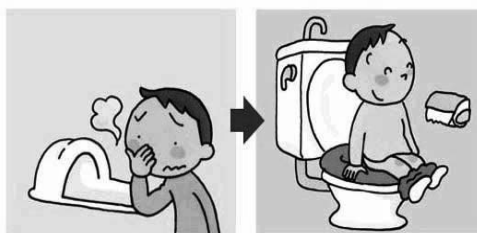
歳入予算額			歳出予算額		
24,600			24,600		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
サービス収入	19,754	80.3	総務費	14,608	59.4
繰入金	4,835	19.7	サービス事業費	9,468	38.5
その他	11	0.0	その他	524	2.1

(5) 公共下水道事業特別会計

公共下水道排水区域において、台所やトイレなどで流した生活雑排水をきれいにする公共下水道事業の会計です。

管きょ工事のほかに、老朽化した施設の修繕や機器等の更新を行います。

平成26年度は、下水道長寿命化関連事業として、浄化センターともべの施設改修工事を行います。



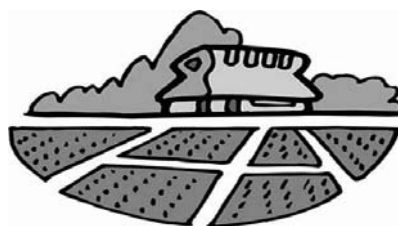
(単位：千円，%)

歳入予算額			歳出予算額		
2,603,000			2,603,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
市債	868,400	33.4	公債費	1,316,671	50.6
繰入金	855,689	32.9	下水道費	1,281,329	49.2
使用料及び手数料	531,598	20.4	予備費	5,000	0.2
国庫支出金	270,350	10.4			
分担金及び負担金	67,489	2.6			
その他	9,474	0.3			

(6) 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水区域において、台所やトイレなどで流した生活雑排水をきれいにする農業集落排水事業の会計です。

小原地区を中心とする友部北部の排水処理施設完成に伴いⅠ期地区で供用を開始しました。新たにⅡ期地区の管路施設工事を行います。

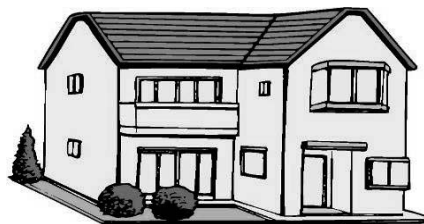


(単位：千円, %)

歳入予算額			824,000			歳出予算額			824,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
緑入金	328,900	39.9	農業集落排水事業費	558,189	67.8						
市債	207,000	25.1	公債費	264,811	32.1						
県支出金	202,660	24.6	予備費	1,000	0.1						
使用料及び手数料	65,761	8.0									
その他	19,679	2.4									

(7) 岩間駅東土地区画整理事業特別会計

岩間駅東地区の宅地利用増進を図るための区画整理事業が、平成25年度で終了しました。平成26年度は3区画の保留地の販売を進めます。



(単位：千円, %)

歳入予算額			90,645			歳出予算額			90,645		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
財産収入	86,125	95.0	公債費	52,620	58.1						
緑入金	4,518	5.0	土地区画整理事業費	37,925	41.8						
その他	2	0.0	予備費	100	0.1						

3. 企業会計

企業会計予算状況

地方公営企業法を適用して市が経営している事業は、市立病院事業、水道事業と工業用水道事業です。

市立病院事業会計は、市民の病院として、地域医療を進めるための会計です。

水道事業会計は、安全な飲料水を皆さんの家庭に供給するための会計です。

工業用水道事業会計は、岩間工業団地へ工業用水を供給するための会計です。



会計名	科目	予 定 額	業 務 の 予 定 量	
市立病院事業会計	収益的支出 資本的支出 計	千円	病 床 数	30 床
		694,000	年間患者数	入院 8,760 人 外来 29,400 人
水道事業会計	収益的支出 資本的支出 計	7,006	1日平均患者数	入院 24 人 外来 120 人
		701,006	給 水 件 数	24,297 件
工業用水道事業会計	収益的支出 資本的支出 計	1,941,000	年間総給水量	6,897,461 m ³
		636,564	1日平均給水量	18,897 m ³
計	収益的支出 資本的支出 計	2,577,564	給 水 件 数	4 件
		29,800	年間総給水量	150,961 m ³
計	収益的支出 資本的支出 計	4,536	1日平均給水量	414 m ³
		34,336		
計	収益的支出 資本的支出 計	2,664,800		
		648,106		
		3,312,906		

4. 市債の状況

平成26年度の借入額は、一般会計、特別会計及び企業会計を合わせて、37億360万円を予定しています。

一般会計では、まちづくり振興基金への積立てに充てる2億6,600万円のほか、幹線道路の整備や地域交流センター整備事業、認定こども園整備事業等に対する合併特例債を5億6,440万円、茨城県消防救急無線・指令センター整備事業負担金に係る緊急防災・減災事業債を1億5,540万円、臨時財政対策債を16億円借り入れる予定です。

(単位：千円)

区 分	平成24年度末 現 在 高	平成25年度末 現 在 高 見 込 額	平成26年度		平成26年度末 現 在 高 見 込 額
			借入予定額	元金償還予定額	
一 般 会 計	28,874,244	30,061,247	2,585,800	2,687,009	29,960,038
公共下水道事業 特 別 会 計	16,621,107	16,423,813	868,400	985,646	16,306,567
農業集落排水事業 特 別 会 計	4,397,542	4,307,826	207,000	184,128	4,330,698
岩間駅東土地区画 整理事業特別会計	110,999	106,369	0	51,830	54,539
市立病院事業会計	71,679	79,031	2,400	3,405	78,026
水道事業会計	4,167,073	3,857,209	40,000	318,300	3,578,909
計	54,242,644	54,835,495	3,703,600	4,230,318	54,308,777

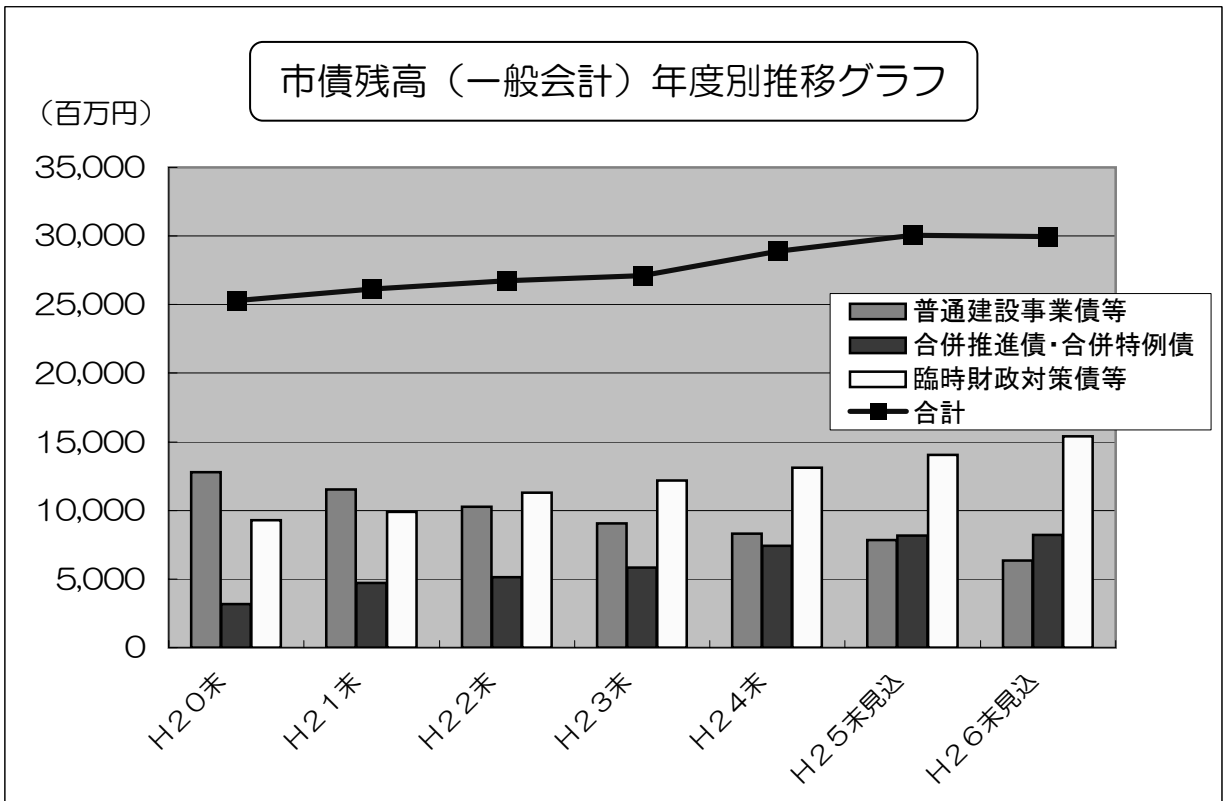


一般会計市債残高の年度別推移

(単位：百万円)

起債名	H20末	H21末	H22末	H23末	H24末	H25末見込	H26末見込
普通建設事業債等	12,796	11,511	10,285	9,072	8,322	7,849	6,352
合併推進債・合併特例債	3,190	4,705	5,152	5,828	7,439	8,183	8,216
臨時財政対策債等	9,299	9,912	11,302	12,201	13,113	14,029	15,392
合計	25,285	26,128	26,739	27,101	28,874	30,061	29,960

☆合併特例債・・・償還時に元金・利息の70%が地方交付税措置
 ☆臨時財政対策債・・・償還時に元金・利息の全額が地方交付税措置



財政指標	笠間市	県内44市町村平均	備考
地方債現在高比率 (H24年度末)	% 149.5	% 149.2	普通会計における将来償還すべき地方債（市債）現在高の標準財政規模に対する割合です。 地方債に関する指標は、公債費負担比率など他の指標においても市町村平均と比較して同程度の数値となっています。

※標準財政規模・・・笠間市が標準的な状態で通常収入されるであろう經常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税、臨時財政対策債発行可能額を加算した額

5. 基金の状況（一般・特別会計）

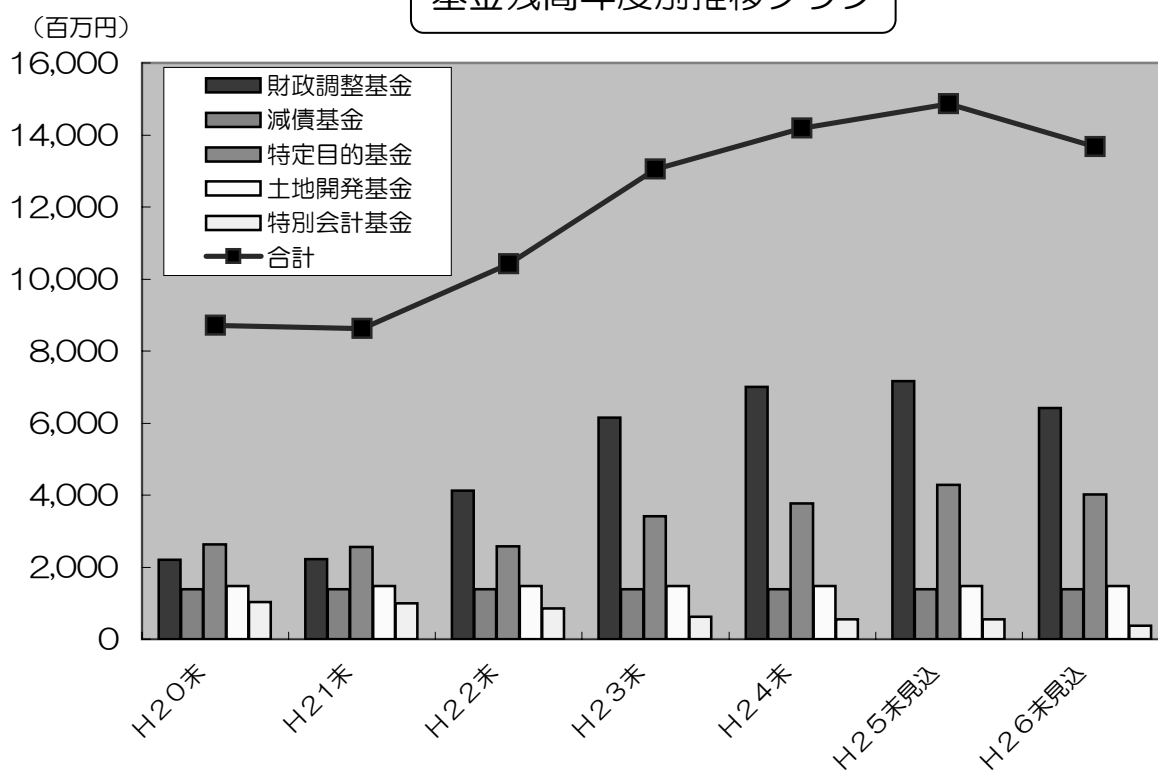
【基金残高の年度別推移】

（単位：百万円）

基金名	H20末	H21末	H22末	H23末	H24末	H25末見込	H26末見込
財政調整基金	2,196	2,220	4,128	6,151	7,006	7,159	6,419
減債基金	1,381	1,382	1,385	1,386	1,387	1,389	1,389
特定目的基金	2,626	2,562	2,580	3,405	3,766	4,288	4,013
土地開発基金	1,469	1,471	1,472	1,475	1,477	1,478	1,478
特別会計基金	1,040	992	861	628	556	545	365
合計	8,712	8,627	10,426	13,045	14,192	14,859	13,664

- ☆財政調整基金・・・年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金
- ☆減債基金・・・地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
- ☆特定目的基金・・・各種事業などの特定の目的のために設置された基金

基金残高年度別推移グラフ



財政指標	笠間市	県内44市町村平均	備考
積立金残高比率 (H24末)	% 67.2	% 53.2	普通会計における積立金（基金）残高の標準財政規模に対する割合です。 積立金現在高比率については、財政調整基金の積み増しなどにより、市町村平均と比較して高い数値となっています。

元気かさま応援基金の概要（笠間市ふるさとづくり寄附金）

笠間市は、歴史と文化の薫る豊かな地域資源や広域交通の優位性を生かした独自のまちづくりを推進しています。

これらを更に推進していくため、「元気かさま応援基金」をつくり、笠間市を応援して下さる方々からの寄附金を積み立て、寄附の目的に沿った事業に活用します。

平成26年度において、以下の事業で有効に活用します。

【元気かさま応援基金を充てる事業】

（単位：千円）

事業の区分	事業名	充当額	担当課
まちづくり支援事業	まちづくり市民活動助成事業	82	市民活動課
子ども支援事業	青年海外派遣事業	2,215	市民活動課
	青年海外派遣者の会活動支援事業	9	市民活動課
	かさま健康ダイヤル24事業	694	健康増進課
芸術・文化支援事業	高齢者芸術鑑賞事業	1,200	生涯学習課
	かさま国際音楽アカデミー事業	800	生涯学習課



かさま国際音楽アカデミー事業



青年海外派遣事業



かさま健康ダイヤル24事業

6. 普通交付税の合併算定替の終了

1 地方交付税とは

本来地方の税収入である地方交付税は、地方公共団体間の財源の不均衡を調整するため国税5税（所得税・法人税など）として国が代わって徴収し、団体ごとに交付税算出のための標準的な収支「基準財政需要額（歳出）」と「基準財政収入額（歳入）」を計算し、基準財政需要額が基準財政収入額を上回る額（財源不足額）に応じて行政サービスを提供するための“一般財源”として配分されています。

2 普通交付税の「合併算定替」とは

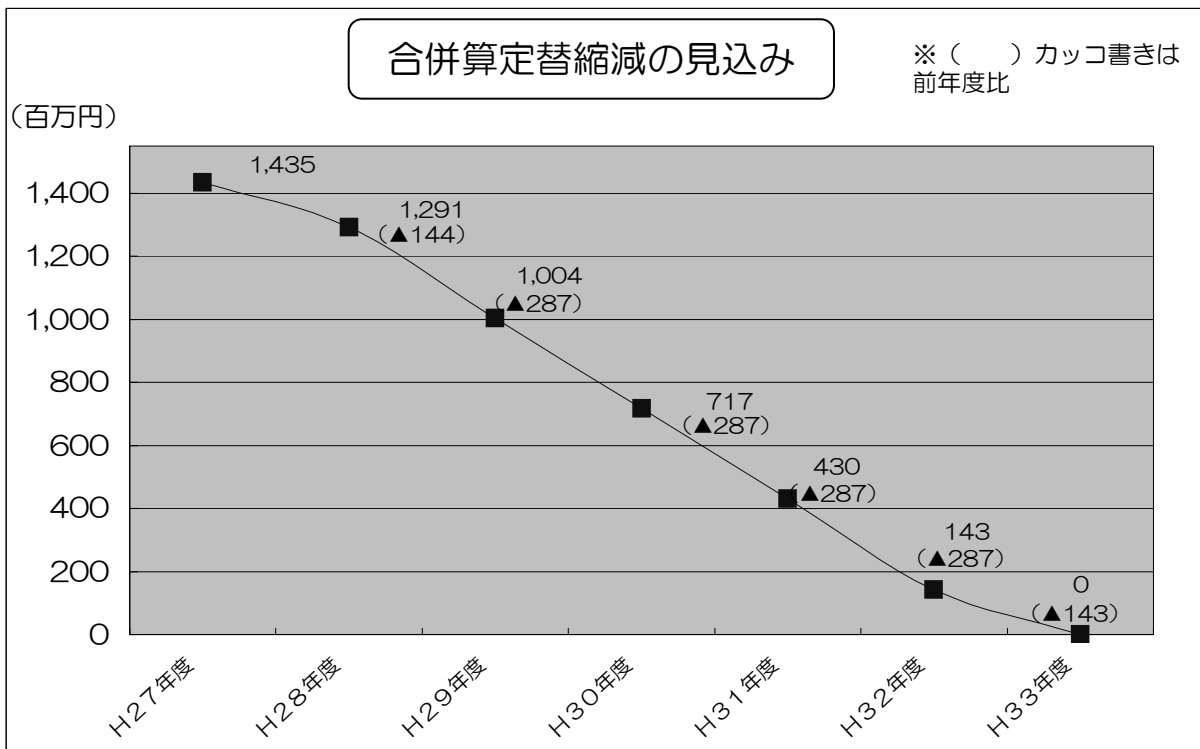
普通交付税は、地方交付税の大半（96%）を占めており、その算出については、本来合併後の一つの市として算出（『一本算定』といいます。）されますが、市町村合併後の10年間は、旧市町村ごとに算出した普通交付税を足し上げ、市町村の合併に伴う財源不足額の減少を防止し、合併後の一体性と均衡ある発展に必要な経費の財源不足額の算定に係る特例措置（『合併算定替』）を受けています。

3 「合併算定替」が終了するとどうなるか

笠間市では平成17年度に合併し、10年間の特例措置は、平成18年度から平成27年度までです。平成28年度から5年間の激変緩和措置のあと、平成33年度には、特例措置は終了するため約1.4億円の普通交付税が縮減され、一般財源が減ってしまうことになります。

平成25年度は、普通交付税全体では61億5,100万円でしたが、合併算定替が無かったとすると47億1,700万円となり14億3,400万円減ってしまうことになります。

人口の減少、高齢化なども踏まえ、今後はより一層効率的・効果的な財政運営を行う必要があります。



わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切に、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

笠間市の花・木・鳥



き く



さくら



うぐいす

平成26年度「わかりやすいかさまの予算」

平成26年3月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL www.city.kasama.lg.jp

加茂

